

# 石高神社報

## 第二十九号

発行日 平成二十三年十二月一日  
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆  
発行所 岡山市中区円山八五三  
電話 〇八六一二七七一九〇〇三

東北地方太平洋沖地震による被災地の日も早い復興をお祈り申し上げます。また、自然災害をはじめ禍津神の禍事無く幸く真幸く守り恵み給へと日頃より氏子の皆様方の幸せを願ってお祀りいたしております。

## 隨身門修復のご寄進状況

江戸時代末期建造の隨身門修復保存を計画して三年前より修復費用の御寄進をお願いしています。目標額は九百万円ですが、まだ目標額の三分の二の六百十三万円で、消費税が二〇一〇年半ばまでには上がるようです。それだけで数十万円余計に費用がかかることになりました。それまでに何とか工事にとりかかりたいと考えています。引き続き御寄進を継続してお願いしていますのでどうかよろしくお願い申し上げます。世の中大変な時期ではありますが、先人たちの文化遺産を守るべく、なにとぞご理解をお願い申し上げます。被災地におかれましては心のお拠り所である神社仏閣の早期再建を願っております。

## 石高神社略記

主祭神に大己貴命（おこなむちのみこと）と須勢理姫命（すせりひめのみこと）をおまつりし、併せて 仲哀天皇 神功皇后 応神天皇をおまつりしています。

当社の創立年月はよくわかりませんが、現存する神名帳で一番古い備前国総社神名帳（八六三年頃）に石高神社と載っており、備前の古社百二十八社の内の一社です。社伝によりますと、昔今の宮山から北手にあります高倉山（石鉄山）の頂上に大己貴命をおまつりする石高神社があり、今の嶽字岩坪に須勢理姫命をおまつりする八幡宮がありました。この両社を天和三年（一六八三年）頃に現在の地に合祀し、岩坪八幡宮と称されていきました。その後、明治四年に旧号の石高神社にもどり、幡多郷の総鎮守産土神となりました。この関係で操山山系の北側に多くの氏子区域があります。古老の話によりますと、正月には幡多小学校と富山小学校の児童が石畳をはさんで整列してお参りしていたそうです。

# 写真で見える石高神社の行事

元旦の初詣 拝殿では、新年の家内安全祈禱や厄除け祈禱をしています。また、拝殿と社務所では、御神札やお守り縁起物を授与しています。



正月元旦の境内の様子

どんどおよび古神札焼却祭 一月中旬の休日にしめ飾りと古い御神札やお守りをお焚き上げします。平成二十四年は一月十五日(日)です。午前十時に始め、昼には火が消えます。ぜんざいの振舞いもあります。

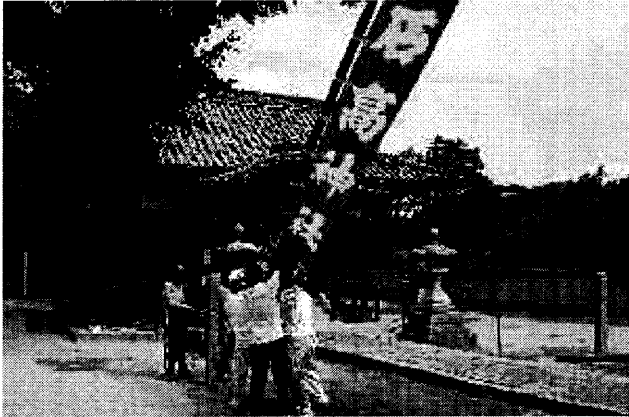


どんどまつり 焚き上げ(上)とぜんざい(下)

## 平成24年 厄年祝年

女 19 歳	平成 6 年生
男 25 歳	昭和 63 年生
女 33 歳	昭和 55 年生
男 42 歳	昭和 46 年生
還暦祝	昭和 27 年生
古希祝	昭和 18 年生
喜寿祝	昭和 11 年生
傘寿祝	昭和 8 年生
米寿祝	大正 14 年生
卒寿祝	大正 12 年生
白寿祝	大正 3 年生

厄払い 人生の節目である厄年にお参りし、厄を払ってもらいます。祝年も同様にお参りし、家族でお祝いします。節分の頃までにお参りするもので、当社では二月一日が「厄払いの日」になっています。



輪くぐり輪づくり (上) 秋祭り旗建て (下)

復興祈願祭  
被災地の一日も早い復興を願い穏やかな日々が戻ることをお祈り申し上げます。  
神社庁の指導により、当社でも四月二日に復興祈願祭を行いました。参拝者の方より義捐金をいただきましたので、日赤を通じて送金しました。



復興祈願祭祭典

輪くぐり祭  
七月三十一日晚  
秋祭り氏子参り  
十月三日晩  
輪くぐりは年の前半の穢れを祓い清め、疫病から身を守る神事です。秋祭りは豊かな収穫に感謝する神事です。輪を作り、旗を立てて準備をします。

七五三祭  
子供の健やかな成長に感謝し、更なる今後の成長を祈る儀式です。家族そろってお参りください。



輪くぐり祭と秋祭りには、夜店が出てにぎわいます。

## 境内に土入れ奉納

昨年十二月に崇敬者の方が、わざわざ二トントラックを借りて二日間にわたり三十数杯分土を運んでくださいました。また、土均しも大勢の人を手配してくださり、ありがとうございました。特に境内の西側部分の石や木の根の凸凹がなくなり、足元が大変良くなりました。

## Q&A ② どんど祭りはいつ？

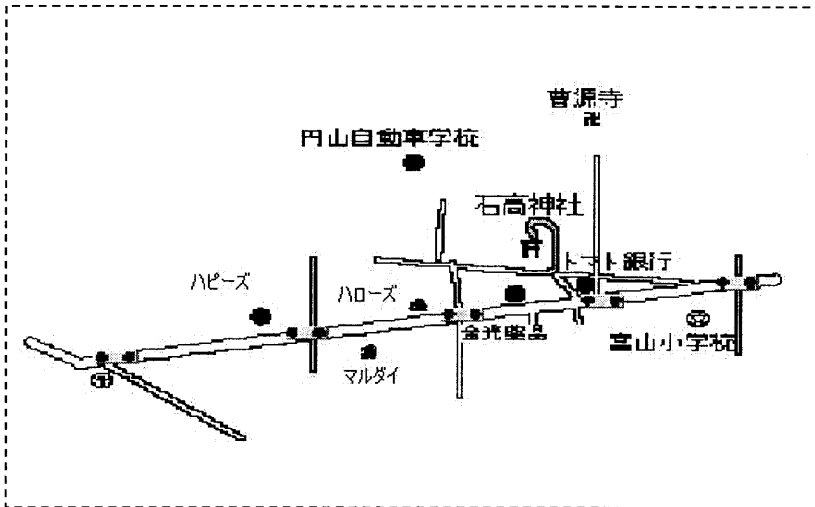
質問 「どんど祭」の日が毎年違ってはいますが、どのように決めていきますか。」

回答 次の①②③の順に行うように決めていきます。

①一月十五日が休祭日なら十五日、②十五日が休祭日ではなくて十四日が休祭日なら十四日、③十四日も十五日も休祭日でない場合には、それより後の一番近い休祭日。したがって、平成二十四年は十五日(日)、二十五年は十九日(土)になります。

## 石高神社の場所と駐車場

大体の場所は地図の通りです。南側には、石段を上がる表参道がありますが、駐車スペースがありません。自動車でお参りの場合は、宮山の東側を山に沿って進むと北側から山に上がる参道があります。右に少し曲がりな



がら登ると本殿の裏に出ますので、ここに駐車するのが便利です。もう少し進むと、境内まで車が上がることができませんが、健常な方は境内への乗り入れはご遠慮ください。なお、宮山の東北のカーブは見通しが悪いので、お気をつけください。元旦は混雑します。

宮司手作りの石高神社のホームページアドレス：

<http://www31.ocn.ne.jp/~ishitaka>

「石高神社」で検索すると出てきます。

行事の前後に更新しています。